

森づくりのはじめの一步（宮城県）

事業の目的

宮城県内特に石巻圏の個人や小規模グループで林業に関心がある方々を対象に、林業の川上から川下までの一連の流れを経験してもらうことで、各々の興味関心に沿って林業に携わるきっかけ・ヒントを見出してもらうことと、受講者同士が情報交換等を行えるネットワーク構築の基盤作りを目指す。

事業の内容

「森づくりのはじめの一步」と題し、森づくりや林業に関心がある方向け（県内女性をメインターゲット）に4日間の連続講座（下記参照）を実施。参加者総勢12名とのネットワーク構築と当社の精油事業スタートとすべく精油の分析を実施した。

- ①「森林・林業を知る」座学を中心とした講義（講師：林野庁宮崎北部森林管理署 都賢太郎氏）
- ②「森づくりを考える」森林内でのフィールドワークを中心とした講義（講師：株式会社佐久 大淵香菜子氏）
- ③「木を伐る技術を学ぶ」チェーンソー体験を中心とした講義（講師：週末林業家育成塾 森優真氏）
- ④「山林資源を活用する」精油抽出実験と自伐型林業に関する講義（講師：澤田佳代子氏）

参加者

8名（男女合わせて12名）

参加者内訳（目標値である県内女性は4名参加）

- ・地域別：宮城県内受講者7名、神奈川県2名、東京都2名、埼玉県1名
- ・性別：男性4名、女性8名
- ・年齢別：10代1名、20代3名、30代3名、40代3名、50代1名、60代1名

→県内女性の参加について考察。声掛けした方々は関心が高かったものの4日連続講座で2週にわたって土日開催で終日講義という設定はハードルが高かった様子。

感想、手応え

この度の事業では、県内の女性を対象に森林・林業を体系的に学んでいただくこと、共に学んだ方々とのネットワークを構築することを目的としました。林業就業希望者ではなくても、森が好き、登山が好き、環境のためにも何かしたいといった方々にもお越しいただきたく、タイトルや宣伝方法を工夫したことにより、さまざまな動機を持った10代から60代まで幅広い年代の男女にご参加いただくことができました。参加者からは、「森林のことを体系的に学ぶことができ大変満足だった。」「森林の見方が変わった。山を所有しなくて

も自分のできるやり方で森づくりに関わっていきたい。」「自分で山を借りて施業をしたい。」「環境問題に関心があり、ぼんやりとしていた知識が腹落ちした講座だった。」等々のお声をいただきました。興味関心がバラバラな参加者様でしたが皆様にご満足いただけたのは、知識・経験豊富な講師の方々のおかげであり、改めて「森林」の持つ魅力を人々に楽しく、わかりやすく伝えていく機会が必要だと感じました。今回は森林・林業に興味を持っていただくきっかけにすぎず、今後は奥深い森林について更に学びを深める場や、森づくり・林業の実践の場を作り、参加者との繋がりを持ち続けていきたいと考えています。本事業を助成、ご協力いただきました全国林業改良普及協会、宮城県東部地方振興事務所、講師の方々に感謝申し上げます。

活動の様子



初日「森林・林業を知る」講座終了後。初めて知ることばかりだと驚く参加者もいました。



2日目「森づくりを考える」。地域の山林から集めた樹木の種から苗づくりを学んだ。苗は持ち帰り植林できる大きさになるまで育ててもらうことに。



3日目「木を伐る技術を学ぶ」。初めてチェーンソーを持った参加者ら。購入したくなり帰宅後ネット検索した人もいた。



3日目「木を伐る技術を学ぶ」。間伐前と後の山林を見て、山林空間デザインについて学んだ。



4 日目「山林資源を活用する」。2 日目に行った毎木調査のエリア内で間伐を行い、杉葉を採取した。



4 日目「山林資源を活用する」。間伐材の活用として精油抽出について学んだ。